

# 茨木のり子の詩と思索を巡る旅

2回開催!

## 夏の集い

2020年8月10日(月・祝)・15日(土)

(開場 13時30分) 14時~16時30分

西東京市 柳沢公民館 視聴覚室

(西武新宿線西武柳沢駅南口徒歩1分)

西東京市東伏見の地で、創作活動を続けられた茨木のり子さんの詩に触れ、語り合う集いです。春に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で夏に順延になりました。お誘い合わせでご参加下さい!

事前にお申し込みください。内容は両日同じです。  
定員 各回 40人 (先着順)



「茨木のり子の家」より

### ◆絵本「貝の子プチキュー」読み聞かせ

作 茨木のり子・絵 山内ふじ江 (2006年 福音館書店)

「貝の子プチキュー」は、茨木のり子さん1948年作の童話で、同年7月30日に、NHKラジオ第一放送、夏のラジオ学校(低学年の時間)で、山本安英さんの朗読により発表されました。茨木さん



没後の2006年6月、山内ふじ江さんの絵で絵本として出版されました。地域で紙芝居に挑戦されている穂坂晴子さんに、大人向け読み聞かせをしていただきます。



◆CDで音楽詩を聴く  
吉岡しげ美  
「わたしが一番きれいだったとき」  
「生きているもの・死んでいるもの」  
「じぶんの感受性くらい」

吉岡しげ美さん(城西国際大学客員教授)は、詩や短歌に曲をつけ、ピアノ弾き語りなどによる音楽詩コンサートを開いています。今回は、茨木のり子さんの詩2曲と朗読をCDで鑑賞します。

### ◆朗読・群読 「六月」「最上川岸」「灯」「鶴」「落ちこぼれ」他

会員が茨木さんの詩を朗読します。最後に、参加者全員で「倚りかからず」を群読。新発見があるかもしれません! ピアノ 田村麻子さん

### ◆交流

短い時間ですが感想・意見交換を行います。

主催 茨木のり子の家を残したい会  
代表 小田桐孝子  
連絡先 柳田由紀子 Tel 042-461-3246

● 絵本 「貝の子プチキュー」 朗読者 穂坂晴子

● CD 「Solo」—茨木のり子さんに捧ぐ— 吉岡しげ美  
「わたしが一番きれいだったとき」ピアノ弾き語り  
「生きているもの・死んでいるもの」ピアノ弾き語り  
「自分の感受性くらい」ピアノ即興演奏と朗読

● 詩の朗読

個人

「六月」

「最上川岸」

「灯」

朗読者

小熊ひと美

柳田由紀子

橋本いづみ

グループ

朗読者

新野由紀子 井坂敬子 大朝康子

河本洋子 藤池由紀子 松本富美子

「はじめての町」

「鶴」

「四月のうた」

「落ちこぼれ」

「汲む —Y.Yに—」

「苦しみの日々 哀しみの日々」

「問い」

全員

「倚りかからず」